

## ① 題：「さあ行きなさい」(32 分)

220101

説教者 : 花田憲彦  
聖書朗読 : 使徒行伝 5 章 17~21a 節  
瞑想の言葉 : 詩篇 40 章 7~11 節

「その時わたしは言った、『見よ、わたしはまいります。書の巻に、わたしのためにしるされています。わが神よ、わたしはみこころを行うことを喜びます。あなたのおきてはわたしの心のうちにあります』と。わたしは大いなる集会で、救についての喜びのおとずれを告げ示しました。見よ、わたしはくちびるを閉じませんでした。主よ、あなたはこれをご存じです。わたしはあなたの救を心のうちに隠しおかず、あなたのまことと救とを告げ示しました。わたしはあなたのいつくしみとまこととを大いなる集會に隠しませんでした。主よ、あなたのあわれみをわたしに惜しまず、あなたのいつくしみとまこととをもって常にわたしをお守りください。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 13 番  
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 150 番

## ② 題：「『いつも福音を伝えなさい。必要なら言葉を用いなさい。』」(28 分)

220528

説教者 : 長谷川 徹  
聖書朗読 : マルコによる福音書 6 章 33~37 節  
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『ミニストリー・オブ・ヒーリング』第 9 章より

「人の心を動かすには、キリストの方法だけが真の成功をもたらす。人間と交際しておられた間、救い主はその人たちの利益を計られ、同情を示し、その必要を満たして信頼をお受けになった。そして『わたしについてきなさい』とご命令になった。個人的に努力をして、人々に近づいていくことが必要である。説教に用いる時間を減らし、個人伝道にもっと多くの時間を使うならば、さらに大きな結果をもたらすだろう。貧しい者を助け、病める者を看護し、悲しむ者、親しい人を失った者を慰め、無知な者に教え、経験がない者には助言を与えなければならない。わたしたちは泣く者と共に泣き、喜ぶ者と共に喜ぶべきである。納得させる力と祈りの力と神の愛の力が伴うならば、この働きが実を結ばずにおくはずはなく、必ず結ぶのである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 14 番  
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 373 番 3 節

## ③ 題：「わたしに従いなさい」(33 分)

220910

説教者 : 山地 正  
聖書朗読 : ヨハネによる福音書 21 章 18,19 節  
瞑想の言葉 : ヨハネによる福音書 1 章 1~5 節

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 13 番  
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 334 番

### ◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)  
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などにご利用ください。